

第 9 8 期 第 2 四 半 期

中間報告書

平成25年4月1日 ~ 平成25年9月30日

証券コード 6436

Contents

株主の皆様へ 新中期経営計画 トップインタビュー 連結財務諸表 (要旨) トピックス ネットワーク 会社概要 10

株式の状況・株主メモ



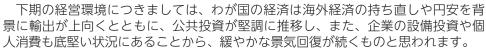
AMANO REPORT

株主の皆様には、平素より格別なご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、創業以来「人と時間」、「人と環境」を企業テーマに掲げ、全事業活動の 座標軸を顧客満足度におき、全社員がお客様の声を聞く「顧客第一主義」を基本方 針としております。また、株主の皆様にとって魅力ある企業であるために企業価値 (現在価値+将来価値)の最大化を図ることを経営の重点戦略としてまいりました。

平成23年4月よりスタートした新中期経営計画の基本方針に基づき、新グローバル成長戦略のもと、市場・プロダクトのグローバル展開、総合提案ビジネスの拡大に取り組み、徹底的な顧客ニーズの掘り起こしに注力するとともに、原価低減、販管費抑制にも努めた結果、当中間期の連結業績は、売上高・利益ともに増収増益となりました。

中間配当金につきましては、配当の基本方針に基づき、株主の皆様のご支援にお応えするため、期初予定通り1株当たり13円とさせていただきました。



このような経営環境の中で、当社およびグループ各社は、新中期経営計画最終年度の目標達成に向け全社一丸となって取り組むとともに、更なる経営基盤の強化・拡大を図る所存でございます。

株主の皆様におかれましては、何とぞ倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



代表取締役社長・中島泉

財務ハイライト(連結)

中間期 (第2四半期)

通期









94期 95期 96期 97期 98期

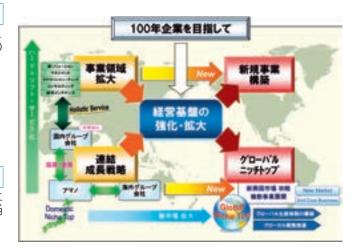
基本方針

平成23年4月よりスタートした新中期経営計画は、 「経営基盤の強化・拡大」に重点を置き、次の3つの 重要課題に取り組んでまいります。

- (1) グローバルニッチトップ
 - ・新興国市場の攻略
 - ・海外現地法人における複数事業展開
- (2) 国内事業基盤の強化
 - ・既存事業の深堀、および事業領域拡大
- (3) 新規事業の構築

数值計画

新中期経営計画は当期が最終年度となります。売上 高980億円、営業利益82億円、経常利益85億円、当 期純利益49億円の達成を目指してまいります。



(単位:百万円)

	平成24年3月期(実績)		平成25年3月期(実績)		平成26年3月期(計画)	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
売 上 高	88,146	5.8%	90,295	2.4%	98,000	8.5%
営 業 利 益	5,917	35.0%	7,329	23.9%	8,200	11.9%
営業利益率	6.7%	_	8.1%	_	8.4%	_
経 常 利 益	6,322	31.5%	7,768	22.9%	8,500	9.4%
当期純利益	2,414	△21.2%	3,986	65.1%	4,900	22.9%









第98期第2四半期中間報告書をお届けするにあたり、代表取締役社長 中島泉へのインタビューを通して当社の現状と今後の取り組みをご説明いたします。



当中間期の連結業績の概要についてお聞かせください。

当中間期におけるわが国の経済は、新興国経済の減速など 海外経済の不透明な状況はあるものの、公共投資が堅調に 推移し、企業収益の改善を背景にした設備投資の持ち直し や雇用・所得環境の改善による個人消費の底堅い推移など、景気 が緩やかに回復しているものと考えられます。

このような状況下、2014年3月期第2四半期連結売上は、463億99百万円(前年同期比6.7%増)となりました。事業部門別では、情報システムは、国内は企業の情報関連投資の回復を背景に需要が拡大し、海外は為替の影響もあり増収となったことから、全体では前年同期比13.0%増収となりました。パーキングシステムは、国内は大型システム物件増加により売上伸長したほか、運営受託事業が順調に拡大し増収、また、海外では韓国が堅調に推移し、全体では前年同期比10.1%増収となりました。環境システムは、前期後半から続いた設備投資の先延ばしが影響し、前年同期比6.2%減収となりました。

利益につきましては、情報システムの増収効果により、営業利益は30億98百万円(前年同期比3.7%増)となり、また経常利益は34億1百万円(前年同期比6.8%増)、当四半期純利益は18億93百万円(前年同期比15.4%増)となりました。



🚧 2014年3月期の通期見通しについてお聞かせください。



当中間期の業績および足元の事業環境を踏まえた2014年3月期の業績予想は、今年5月8日に公表した期初計画を据え置いております。

国内では、情報システムは、事業環境の好転を追い風に、就業・給与・人事のトータル提案活動を更に強化し受注促進を図ってまいります。また、株式会社クレオとの連携強化、新パッケージソフトの拡販により、中堅・大規模企業向け市場での売上拡大を目指してまいります。

パーキングシステムは、国内グループ会社との連携により、安心・安全・エコをキーワードとした運営受託サービスの拡大に注力してまいります。また、セキュリティゲートシステム、有料道路、駐輪場等の新市場拡大にも取り組んでまいります。

環境システムは、汎用機の新商品販売活動および製薬・食品・ 化粧品等の新市場への提案活動を一層強化してまいります。また、 日系企業の海外シフトによる需要獲得のため、現地エンジニアリ ング体制強化・海外グループ会社との連携を強化し、受注拡大に 注力してまいります。

海外では、情報システムは米国アキュタイムシステムズ社、フランスのホロスマート社、パーキングシステムは米国アマノマクギャン社、韓国アマノコーリア社が海外景気回復を背景として、堅調に推移することが見込まれることから、連結売上高980億円、営業利益82億円の達成に邁進してまいります。

事業概況



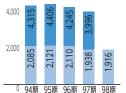
国内の実績は、前年同期に比べ、ハードウェアは1億55百万円増収(6.5%増)、ソフトウェアは1億48百万円増収(6.5%増)、メンテ・サプライに 55百万円増収(3.4%増)となりました。ハードウェアの増収は、新商品投入効果および大型物件受注によるもので、ソフトウェアの増収は、システムエンジニアによるコンサルティング営業強化および就業・給与・人事のトータルはよるものです。

海外の実績は、北米のアキュタイムシステムズ社は増収、欧州のホロスマート社は円安が寄与し増収となり、海外全体では7億48百万円増収(前年同期比21.4%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は 104億44百万円 (前年同期比13.0%増) となりました。

時間管理機器





国内の実績は、前年同期に比べ、低価格機は増加したものの標準機等が国内・輸出ともに伸び悩み、全体では35百万円減収(2.4%減)となりました。

海外の実績は、北米、 欧州、アジアともに低調 が続き、海外全体では16 百万円減収(前年同期比 2.6%減)となりました。 以上の結果、当事業五

以上の結果、当事業部 門の売上高は19億16百 万円(前年同期比1.1% 滅)となりました。

パーキングシステム





中期経営計画の進捗状況についてお聞かせください。



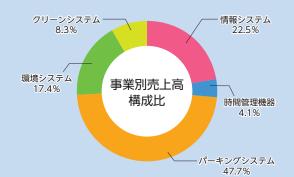
当期は2011年4月に策定した新中期3カ年計画の最終年度とな ります。重要戦略課題である「グローバルニッチトップ」、「国内 事業基盤の強化」、「新規事業の構築」の進捗状況についてご説明 いたします。

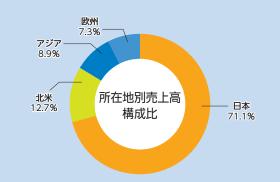
まず、「グローバルニッチトップ」では、情報システムは、アジア地 域の日系企業向けに市場投入した就業管理システム「TimePro-XG就業 /英語版・中国語版Iの受注が拡大しております。パーキングシステムは、 2013年8月に香港に現地法人を設立し、運営受託事業を開始いたしま した。また、韓国における駐車場運営受託事業も堅調に推移しておりま す。環境システムは、北米において日系企業から大型集塵システムの受 注が拡大しており、事業展開が本格化してまいりました。更なる受注拡 大に向けて、国内営業部門・事業本部・現地法人との連携を図り、販売 活動を強化してまいります。

次に「国内事業基盤の強化」は、グループ会社と連携して、情報シス テムの「クラウドソリューション」やパーキングシステムの「駐車場デー タセンター| 等のサービスの拡充に注力し、一層の顧客基盤・事業基盤 の強化を図ってまいります。

また、情報システムでは、3月に資本参加した株式会社クレオと連携 し、中堅・大規模企業向け市場での売上拡大を目指してまいります。

「新規事業の構築」については、ネットビジネスやメンタルヘルスビ ジネスなどの新たな取り組みを開始いたしました。今後も新規事業の立 ち上げ、既存技術やアライアンスの有効利用を通じて、取り組み強化と スピードアップを図ってまいります。





国内の実績は、前年同期に比べ、駐車 場機器は1億85百万円増収(2.6%増)、 メンテ・サプライは67百万円増収(1.6 %増)となりました。また、グループ会 社 アマノマネジメントサービス株式会 社による運営受託事業も順調に拡大し ており、受託車室数は前期末比12.800 台増加(5.1%増)いたしました。

海外の実績は、北米のアマノマクギ ャン社は円安が寄与し増収、欧州はア ジア・オセアニア市場向けシステム受 注が拡大し増収、アジア地域は韓国が 堅調に推移し増収となり、海外全体で は10億76百万円増収(前年同期比 22.0%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は 221億14百万円(前年同期比10.1% 増)となりました。

環境システム



国内の実績は、前年同期に比 べ、汎用機は1億57百万円減収 (5.7%減)、大型システムは前期 後半から続いた設備投資の先延ば しが影響し7億17百万円減収 (24.6%減)、メンテ・サプライは 1億35百万円減収(7.2%減)と なりました。

海外の実績は、中国市場での減 収はあったものの、アジア市場全 体では為替の影響もあり増収、北 米市場は大型システム案件が増加 したことにより増収となり、海外 全体では3億89百万円増収(前年 同期比35.9%増)となりました。

以上の結果、当事業部門の売上 高は80億87百万円(前年同期比 6.2%減)となりました。



国内の実績は、前年同期 に比べ、清掃機器は11百 万円減収 (1.1%減)、メン テ・サプライは8百万円増 収(1.2%増)、清掃受託 サービスは72百万円増収 (10.7%増)となりました。 海外の実績は、北米が為 替の影響もあり増収とな り、海外全体では1億64 百万円増収(前年同期比 18.0%増)となりました。

以上の結果、当事業部門 の売上高は38億36百万円 (前年同期比6.7%増) とな りました。

第2四半期連結貸借対照表

第97期

第98期

(単位:百万円)

(単位:百万円)

第98期

笠00部

Point ① 流動資産

現金及び預金 36億88百万円増加 受取手形及び売掛金 26億76百万円減少 仕掛品

7億44百万円増加

Point ⑤ 売上高

情報システム及びパーキングシステムが堅調に推移し、売上高は463億99百万円と前年同期比6.7%の増収となりました。

Point 6 営業利益

販売費及び一般管理費は 増加したものの、増収効 果もあり、営業利益は 30億98百万円と同3.7% の増益となりました。

Point ② 経常利益

増収効果に加え、為替レートの変動に伴う為替差益の計上により、経常利益は34億1百万円と同6.8%の増益となりました。

	(H25.3.31)	(H25.9.30)
資産の部		
① 流動資産	65,253	67,526
固定資産	44,222	46,999
有形固定資産	22,985	23,904
無形固定資産	8,481	10,105
投資その他の資産	12,755	12,989
資産合計	109,476	114,526

	弗9/期 (H25.3.31)	弗98期 (H25.9.30)
負債の部		
② 流動負債	25,104	25,717
3 固定負債	7,653	8,853
負債合計	32,758	34,571
純資産の部		
株主資本	83,472	84,369
その他の包括利益累計額	△7,023	△4,742
少数株主持分	268	327
4 純資産合計	76,718	79,955
負債純資産合計	109,476	114,526

笠のフ切

第2四半期連結損益計算書

第97期 第98期 (H24.4.1~) (H25.4.1~) H24.9.30) (H25.9.30)

⑤ 売上高	43,474	46,399
売上原価	24,201	25,887
売上総利益	19,272	20,512
販売費及び 一般管理費	16,283	17,413
6 営業利益	2,988	3,098
営業外収益	252	370
営業外費用	56	67
❷ 経常利益	3,184	3,401

	(H24.4.1~ (H24.9.30)	(H25.4.1~ (H25.9.30)
特別利益	8	11
特別損失	164	30
税金等調整前 四半期純利益	3,027	3,381
法人税等	1,352	1,439
少数株主損益調整前 四半期純利益	1,675	1,941
少数株主利益	35	48
3 四半期純利益	1,640	1,893

第97期

Point ② 流動負債

支払手形及び買掛金 8億30百万円減少 短期リース債務 2億16百万円増加 その他(前受金等) 11億43百万円増加

Point 3 固定負債

長期借入金 8億47百万円増加 長期リース債務 3億22百万円増加

Point 4 純資産

為替換算調整勘定 20億75百万円増加

Point ③ 四半期純利益

固定資産売却益の計上、投資有価証券評価損の減少、 増収効果に伴う経常増益により、四半期純利益は18 億93百万円と同15.4%の 増益となりました。

Point **②** 営業CF

税金等調整前四半期純利益 33億81百万円 売上債権の減少 35億19百万円

Point ① 投資CF

有形固定資産の取得による支出 17億83百万円 無形固定資産の取得による支出 16億62百万円

Point ① 財務CF

セール・アンド・リース バックによる収入 13億24百万円 長期借入れによる収入 9億72百万円

第2四半期連結包括利益計算書

第97期 第98期 H24.4.1~) (H25.4.1~) H25.9.30) 少数株主損益調整前四半期純利益 1,941 1,675 その他の包括利益合計 △87 2.315 その他有価証券評価差額金 △119 205 26 2.089 為替換算調整勘定 持分法適用会社に対する持分相当額 5 20 4.257 四半期包括利益 1.588 (内訳) 親会社株主に係る四半期包括利益 1,551 4,174 少数株主に係る四半期包括利益 36 82

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

	第 97期 (H24.4.1~ (H24.9.30	第98期 (H25.4.1~ (H25.9.30)
❷ 営業活動によるキャッシュ・フロー	4,891	6,345
● 投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,630	△3,894
● 財務活動によるキャッシュ・フロー	△348	313
現金及び現金同等物に係る換算差額	△56	453
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,855	3,217
現金及び現金同等物の期首残高	25,921	26,587
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,776	29,805

(単位:百万円)

1. 情報システム

就業システムと勤怠クラウドサービスの 新商品を市場投入!

2013年7月、時間管理・経営管理・危機管理の3つの視点から、効率的な就業管理と労務リスク対策を実現する就業システム「TimePro-VG」を新発売しました。「TimePro-VG」は、総務・人事部門が必要とするデータ提供はもちろん、長時間労働に対するアラート機能や各種勤務データの見える化により、就業管理機能を更にレベルアップしています。また、インターネット回線を経由した各種サポート機能を拡充し、これまで以上に充実したサービスの提供を実現しました。

また同月、業界初となる、初期費用ゼロ・基本料金ゼロ・最低利用人数設定なしの勤怠クラウドサービス「CLOUZA」を新発売しました。「CLOUZA」は、タブレット端末での運用も考慮したユーザーインターフェースを実装し、外出先や移動中の空き時間を有効に活用した勤怠管理が可能となり、多店舗展開する事業者などに最適なサービスです。今後も、お客様の要望にお応えするソリューションを提供してまいります。



勤怠クラウドサービス「CLOUZA(クラウザ)」

2. パーキングシステム

パーキング事業の業容拡大! 運営受託、施設整備をトータルに提供

駐車場運営の環境配慮やコスト削減、場内の安全・安心への取り組み、そして、駐車場利用者への利便性向上など、駐車場に求められるニーズは益々多様化しています。アマノは安心・安全・エコをキーワードとした駐車場利用者へのサービス向上提案や駐車場情報配信サービスを活用した駐車場運営の効率化提案、駐車場に付帯する設備や各種サービスのトータル提案を積極的に進めてまいりました。

2013年6月には、某国立大学医学部・医学部付属病院様向けに、外来者用駐車場1カ所、教職員・学生用駐車場3カ所、学内約2,000台の駐車場施設を整備し、運用を開始しました。これは、駐車スペース不足や違法駐車など駐車場問題の解消のみならず、外来者の皆様が使いやすい駐車場施設整備や環境配慮という観点から提案をし、駐車場システム・運営受託サービス・立体駐車場の建設を一括受注したものです。

これからも、パーキング施設に関連するトータルソリューションを提供してまいります。





誰もが使いやすい自動料金精算機や駐車料金の電子マネー決済、 環境に配慮した駐車券(古紙・大豆油インク使用)等、様々な 取り組みを行っています。

Parking Systems

3. 環境システム

製薬業界向け 環境システムの販売が拡大!

製薬・化粧品業界および食品業界において、集 塵機や空気輸送システムの販売が拡大していま す。ここ数年、フィルター着脱が容易で清掃性に 優れた「ステンレスボディ集塵機」、高圧で粉体 を回収する「高圧吸引機」、原材料をワレ・カケ なく輸送する「粉粒体空気輸送システム」、生産 装置に原材料を自動で投入する「空気輸送装置」 など、同業界で求められる高い衛生・品質仕様に 対応する製品やシステムを開発・発売し、商品ラ インナップの強化に取り組んでまいりました。

2013年7月に開催された医薬・化粧品業界向け専門技術展示会「インターフェックスジャパン」では、数多くのお客様にご来場いただき好評を博しました。







「インターフェックスジャパン」展示会でのアマノブース

Environmental Systems

4. クリーンシステム

事業領域を拡大!

清掃機器の利便性・安全性向上と

清掃サービスメニューを拡充

お客様からのご要望にお応えして、ダストコントロールと床洗浄を同時に行う「ダスタークロス取付キット」や、清掃機の旋回時の操作性を高める「コーナーポール」などを発売し、清掃作業の利便性・安全性を格段に向上させました。

また、清掃マネジメントサービスの新たなメニューとして、従来の床清掃や立体清掃に加えて「衛生陶器コーティングサービス」を開始しました。本サービスは、流し台・トイレや床タイルに特殊コーティングを行うことにより、美観を維持するとともに、老朽化を防ぎます。コーティング材は有害物質を含んでおらず、商業施設や学校・病院など、あらゆる施設で施工が可能なサービスです。

今後も機器・清掃用品や清掃マネジメントサービスのトータル提案により、更なる事業拡大を目指してまいります。



Cleaning Systems

Global Network



• TOPICS • パーキング事業のグローバル展開加速、 アジアでの駐車場運営受託事業を拡大!

韓国のアマノコーリア社は、1996年の会社設立以来、韓国国内で駐車場運営受託事業に取り組み、官公庁や大学・病院・大型ショッピングセンターなど様々な駐車場でサービスを展開してまいりました。現在では、運営受託サービス分野のリーディングカンパニーとしての地位を確立しております。

また、2013年8月、香港に駐車場運営受託事業を展開する新会社を設立し、活動を開始しました。アジア市場でのパーキング事業拡大のため、駐車場運営受託事業を強化してまいります。



韓国での駐車場システム設置事例



香港での駐車場システム設置事例

支店・営業所

東北·北海道営業本部 札幌/盛岡/秋田/仙台/山形/郡山

関東営業本部 大宮/宇都宮/高崎/水戸/埼玉

東京営業本部 東京/品川/新宿/立川/錦糸町/千葉/柏

信越営業部 長野/新潟/長岡/諏訪

神奈川・静岡営業本部 神奈川/横浜/厚木/藤沢/沼津/静岡/浜松

中部営業本部 名古屋/豊田/豊橋/四日市/岐阜

北陸営業部 金沢/富山

近畿営業本部 大阪/京都/神戸/東大阪/堺/姫路

東北·北海道 中国·四国営業本部 広島/岡山/松江/山口/高松/松山/高知 。 九州営業本部 福岡/北九州/長崎/熊本/鹿児島/沖縄



国内グループ会社

アマノ マネジメントサービス株式会社 アマノ メンテナンス エンジニアリング株式会社 アマノ ビジネスソリューションズ株式会社 株式会社環境衛生研究所 アマノ武蔵電機株式会社 株式会社アマノエージェンシー

信越

神奈川·静岡

関東

生産拠点 横浜事業所

津久井事業所 細江事業所 都田事業所

汁 名 本社所在地

F Χ ホームページ 創 業 設 立 資 金 業 数 員 業内 容

役

アマノ株式会社 AMANO Corporation **T222-8558**

神奈川県横浜市港北区大豆戸町275番地

045-401-1441 (代表) 045-439-1120

http://www.amano.co.jp/

1931年(昭和6年) 11月3日

1945年 (昭和20年) 11月22日 182億3.958万円 (平成25年9月30日現在)

2,116名 (平成25年9月30日現在) 企画・設計・製造・販売・施工・メンテナンス

- ●情報システム事業
- ●時間管理機器事業
- ●パーキングシステム事業
- ●環境システム事業

代表取締役会長

- ●クリーンシステム事業
- ●アウトソーシング事業
- ●時刻配信・認証サービス事業

代表取締役社長 島 泉 中 彦 代表取締役専務 治 Ш 稔 取締役 常務執行役員 11 Ш 取締役 常務執行役員 畑 信 行 \blacksquare 取締役 常務執行役員 石 弘 Á 亨 取締役 執行役員 上 野 寺 禬 功 取締役 執行役員 取締役(社外) 岸 勲 副 勤 監 杳 役 藤 原 勤 監 杳 役 中 \blacksquare 直 樹 監査役(社外) 佐 藤 佳 志 查役(社外) 糸 長 丈 秀 常 務執 行 役 員 今 野 正 幹 埶. 行 役 員 小 堀 健 司 員 吾 行 役 野 Ш 文 執 執 行 役 員 赤 木 毅 原 行 役 井 弘 埶. 邦 子 埶. 行 役 員 金 守 男 役 米 濹 実 埶. 行 員 役 笹 谷 博 行 員 埶. 康 執 行 役 員 新 保 龍 雄 行 役 森 \mathbb{H} 正 彦 埶

 \mathbb{H}

役 役 ※取締役岸 勲氏は社外取締役です。

埶

埶

行

行

※監査役佐藤 佳志、糸長 丈秀の両氏は社外監査役です。

津

 \mathbb{H}

 \mathbb{H}

博

明

之

眞

昌

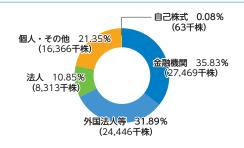
株式情報

(平成25年9月30日現在)

発行可能株式総数 185,476,000株 発行済株式の総数 76.657.829株 株主数 16.034名

(注) 平成25年4月8日付で自己株式の消却を行いました。 株式数は4,600,000株減少し、発行済株式総数は76,657,829株となっております。

所有者別株式分布状況



大株主の状況(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
ノーザントラストカンパニー (エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	9,706	12.67
公益財団法人天野工業技術研究所	6,071	7.92
第一生命保険株式会社	4,000	5.22
株式会社みずほ銀行	3,824	4.99
日本生命保険相互会社	3,743	4.88
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リユーエス タックス エグゼンプテド ペンションファンズ	3,447	4.50
東京海上日動火災保険株式会社	2,748	3.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,409	3.14
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,100	2.74
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,938	2.53

(注) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

Memo

決算期 毎年3月31日 定時株主総会 毎年6月 基準日 毎年3月31日

その他必要ある場合は、あらかじめ公告します。

期末配当金支払基準日 毎年3月31日 中間配当金支払基準日 毎年9月30日

株主名簿管理人

三菱UFJ信託銀行株式会社 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号

電話 (0120) 232-711 (通話料無料)

公告掲載新聞 日本経済新聞

- 1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、□座を開設されている □座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。□座を開設されている証券会社等に お問合せください。
- 株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理 機関となっておりますので、上記特別□座の□座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せくだ さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでは、会社情報、投資家情報など、 さまざまな情報を掲載しております。 ぜひご覧ください。

http://www.amano.co.jp/

人 アマノ株式会社

本社/〒222-8558 横浜市港北区大豆戸町275番地 TEL. (045) 401-1441 (代表) FAX. (045) 439-1120



